

心と心、笑顔のリレー



2024年 5月発行 VOL.45



社会福祉法人 豊済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131

<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



院長就任のご挨拶

社会福祉法人 豊済生会
富山県済生会富山病院
院長 亀山 智樹

この度、富山県済生会富山病院の院長に就任いたしました。井上顧問、堀江前院長の後を継ぎ、責任の重さに身の引き締まる思いです。済生会設立の理念「施業救療」を心に、その職務を遂行してまいります。

出身は、鹿児島県の奄美大島です。世界遺産に登録された自然と島唄にあふれる亜熱帯の島です。高校時代は山登りに夢中で、初めて富山へ来たのは後立山や劔・立山へ山岳部夏合宿で訪れた時です。駅前で銭湯に入りとんかつを食べた思い出があります。大学受験で山に近い富山医科薬科大学を選び、進路指導の先生が驚いていたのを思い出します。大学でも槍、穂高、劔と登山を重ねました。昭和59年に医師となり、田舎に帰らず医薬大の循環器内科に所属しました。恩師に恵まれ研鑽を積み平成7年から2年間、米国バーモント大学循環器内科への留学機会にも恵まれました。心不全での心臓エネルギー効率の研究を行い小さな成果が得られました。帰国後は大学病院で、当時普及し始めた心臓カテーテル治療を始め、日本各地の先生方に教を請い指導していただきました。後継者が育ったこともあり、平成26年大学を離れ済生会富山病院に入職しました。以後、副院長、地域連携室部長、医療福祉支援センター部長等を拝命し、病棟再編や高度治療室(HCU)立ち上げにも関わりました。腕の立つ、体力、気力にあふれた同僚に恵まれ循環器診療、内科救急を充実させることができました。

堀江前院長が、病院を赤字体質からの脱却させるため強力に改革を進め、救急処置室の改修、感染症対策の充実、高度治療室(HCU)の整備、検診予防センターの増築、DMATの整備、災害拠点病院指定、訪問看護ステーションの充実など様々な施策を実現させました。地域住民の医療・介護を支える近隣の先生方と連携して、疾病予防から救急医療、高度医療、訪問看護と切れ目のない、地域における中核病院としての基盤を築いていただきました。

当院の使命は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」です。それを通して地域住民の健康寿命の延伸、健康被害を抱える人々の生活の質の向上、働きがいのある職場環境の形成の実現を目指します。職員が一丸となり皆様の健康をお支えすることで、地域住民1人ひとりが活き活きと充実した人生を営む手助けを当院が提供できれば幸いです。

堀江前院長はじめ先輩諸氏の築いた病院を、働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院へと発展させ、地域の中核病院として「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を継続してまいります。引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

当院の脳神経外科が誇る「多職種チーム医療」

脳神経外科

当院の脳神経外科が誇りにしていることがあります。それは、質の高い多職種チーム医療です。たとえ医師の治療技術がいくら優れていたとしても、そのみでは最善の結果に辿り着くことができない場合があるのが脳神経外科疾患（主に脳卒中）です。

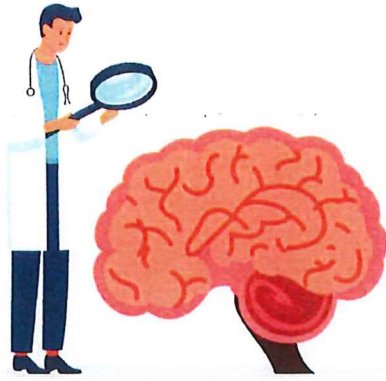
医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション療法士、放射線技師、検査技師、ソーシャルワーカー（MSW）等により結成された多職種チームは、各領域のプロ集団です。お互いの視点から意見を出し合っ、最善の結果につなぎます。チームの目標はたった一つ、患者さんに最善の結果を提供して、笑顔で退院してほしいという願いです。例えば、高いアンテナを持ったプロの病棟看護師が患者さんのわずかな変化に気づいて医師に連絡し、すぐに診察・検査を手際よく行って緊急で治療や処置が施されます。その結果として、患者さんの笑顔での退院につながります。

脳神経外科が扱う疾患で最も多いのが脳梗塞（急性期）です。脳の血管（動脈）が詰まることによって起こり、入院患者全体の約60%を占めています。キーワードは「1分でも早く」です。家族や職場の皆さんが、迷うことなくすぐに救急車を要請する判断がスタート地点です。救急隊員やかかりつけ医の皆様の迅速な対応と協力が必要なことも言うまでもありません。これも、院内・院外の広い意味でのチーム医療です。

病院到着後は、トレーニングを受けた当院の多職種チームが力を発揮して、少しでも早く治療開始できるように取り組みます。我々は、院内スタッフのみでなく、家族・救急隊・かかりつけ医の皆様もチームのメンバーと考えています。



（左から）岡本部長、久保副院長、林主任看護師、堀江健康管理センター長



あらゆる医療の領域で共通しているのが、全身への負担が少ない低侵襲治療の導入です。脳神経外科領域でも同様であり、その代表的なものが、カテーテルを用いた脳血管内治療や神経内視鏡を用いた手術です。これらの手技は、経験を積んだ複数の脳神経外科医が息を合わせて行うだけでなく、手術室看護師・放射線技師との高いチームワークによってはじめて良好な結果につながります。

低侵襲というのは治療が簡単という意味ではありません。

リハビリテーションについても、チーム医療と院内外連携が必要です。脳梗塞などで傷んだ脳の一部からは、持って生まれた回復力(神経可塑性)が約3ヶ月間のみ働きます。特に最初の数週間は、神経成長因子が最も多く放出されてリハビリ効果の上がる時期です。その時期に患者さんがいる場所は急性期病院であり、急性期リハビリテーションが(質も量も)重要になります。当院では最新のロボットリハビリを導入し(上肢用・下肢用とも)、ロボットリハビリ院内-院外連携も行っています。

脳卒中予防の観点からは、脳梗塞を予防する抗血栓薬(抗凝固薬と抗血小板薬の2種類があります)も、それぞれ新しい薬剤が出てきて、適切な使い分けが必要な時代になってきました。でも、その使い分けによって再発予防の優れた効果が得られるのですから、かかりつけ医の先生方ともチームとして連携に取り組んでいます。

脳卒中の予防・治療・リハビリテーション・再発予防を含めて、広い意味でのチーム医療を今後も展開していきたいと思っています。

総合受付の向かって左側に「脳卒中相談窓口」を設置しております。ぜひご利用ください。

文責/脳神経外科 副院長 久保 道也

脳卒中相談窓口

● 対応内容 ●

1. 急性期医療から直接自宅退院する患者さんや家族に対する情報提供・相談支援。
2. 回復期病院やその他の医療機関への転院する患者さんやご家族への、可能な範囲での情報提供と転院への支援。

脳神経外科・脳神経内科
外来担当表

		月	火	水	木	金
1診		平尾(第1・3・5) 久保(第2・4)	久保	—	—	平尾
2診	午前	赤井(第1・3・5) 平尾(第2・4)	平尾	平尾	平尾	岡本
3診		堀江	堀江	完全予約制	久保	
1診		—	久保(脳血管内治療) 予約制(14:00~16:00)	—	田口(脳神経内科) (13:30~15:00)	
2診	午後	—	—	—	—	
3診		—	渋谷(脳神経内科) (13:30~15:00)	—	—	富岳(脳神経内科) (13:30~15:00)

薬剤科の紹介

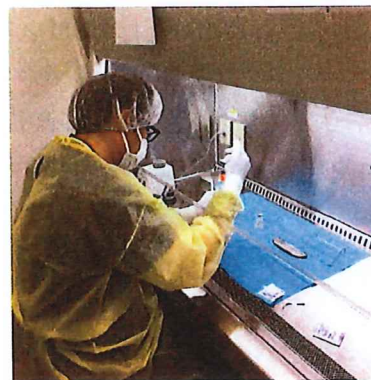
薬剤科では薬剤師12名、医療スタッフ1名の計13名で、毎日たくさんの患者さんの処方箋をチェックし、薬の説明や安全かつ効果的な薬物療法を実施するため、病院内で使用される薬の供給・管理・医療安全の向上など重要な役割を担っています。

薬剤師の役割は、医師の処方箋に基づいて薬を調剤、薬の効果や投与方法、副作用などについてのアドバイスや「くすりの専門家」として患者さんの病歴やアレルギーなどの確認し、正しい用量や服用方法を指導し、患者さんの健康と安全を守る事です。

調剤業務、製剤業務、医薬品の情報提供、抗悪性腫瘍剤等のミキシング、病棟活動などの業務に加え、院内感染対策チーム、抗菌薬適正使用チーム、医療安全対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、骨粗鬆症リエゾンチーム、認知症サポートチーム、糖尿病教室などを通してチーム医療に取り組み、「くすりの専門家」として、医師、看護師、管理栄養士などと協力し、患者さんや医療スタッフから顔の見える薬剤師として頑張っています。

薬に関する疑問がありましたらお気軽に薬剤師にご相談ください。

文責／薬剤科統括科長 五十嵐 諭二



集中ケア認定看護師の紹介

集中ケア認定看護師は、侵襲的治療・重症度や緊急度の高い患者さん、または集中治療が必要となった患者さんやその家族に対して、最善な治療と看護が提供されるように支援することが役割です。私は2001年に済生会富山病院へ入職し、脳神経外科病棟で5年勤務後、大阪府へ移動し救命救急センターや集中治療室で救急・集中治療領域の看護経験を積みました。2016年に集中ケア認定看護師を取得し、フィジカルアセスメントを駆使して生命の危機状態にある患者さんの病態変化を予測した危篤化の予防、二次合併症の予防、早期リハビリテーションなどのケアを実践してきました。海外や東日本大震災での災害医療にも携わり「その人がその人らしく過ごす」ため、集中ケア認定看護師として必要な知識技術を学んできました。

富山に戻って6年目になります。現在は救急外来に配属を置き、専門医療チームにも所属しRST(呼吸ケアサポートチーム)では、酸素療法や人工呼吸器装着患者さんを対象に安全で安楽な呼吸療法治療を提供するため多職種で連携したチーム活動を行っています。院内で横断的な活動を通して看護職員対象のフィジカルアセスメント教育にも力を入れています。

文責／集中ケア認定看護師 稲田浩子



人工呼吸器を装着している患者の看護を検討しています。

新任医師のご紹介

整形外科

香川 桂

かがわ かつら



【専門分野】 股関節外科、外傷
 【資格認定】 日本整形外科学会専門医・指導医、
 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
 【出身大学】 金沢大学 【経験年数】 21年目
 【出身地】 山梨県 【座右の銘】 失敗は成功の基
 【趣味】 温泉

【開業医さんへのメッセージ】 富山県立中央病院から転任致しました。引き続き丁寧な診療を心がけ、地域の先生方や患者の皆様の一助となるよう努めます。

産婦人科

山田 清貴

やまだ きよたか



【専門分野】 産婦人科一般
 【資格認定】 産婦人科専門医
 【出身大学】 富山大学 【経験年数】 10年目
 【出身地】 高岡市 【座右の銘】 不易流行
 【趣味】 野鳥、風景の撮影
 【開業医さんへのメッセージ】

患者様や皆様に信頼して頂ける医療を提供すべく尽力いたします。よろしくお願致します。

外科

荒木 幸紀

あらか きよのり



【専門分野】 一般外科
 【資格認定】 外科専門医
 【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 7年目 【出身地】 大阪府
 【座右の銘】 人生は一箇、活殺全在我
 【趣味】 料理
 【開業医さんへのメッセージ】

精一杯頑張りますので、御指導 御鞭撻の程、何卒よろしくお願致します。

内科

後藤 柚乃

ごとう ゆの



【専門分野】 消化器一般
 【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 6年目
 【出身地】 富山県 【座右の銘】 臥薪嘗胆
 【趣味】 歴史・英語の学習、子育て
 【開業医さんへのメッセージ】

消化器疾患であればいつでもご紹介ください。特に腫瘍に興味があります。お待ちしております。

内科

堺 和花

さかい わか



【専門分野】 糖尿病・内分泌
 【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 5年目
 【出身地】 富山県
 【趣味】 読書
 【開業医さんへのメッセージ】

4月から済生会富山病院に赴任した堺です。これから、よろしくお願致します。

内科

石坂 栄規

いしさか えいき



【専門分野】 消化器内科
 【出身大学】 川崎医科大学
 【経験年数】 5年目
 【出身地】 黒部市
 【座右の銘】 信用第一
 【趣味】 YouTube視聴
 【開業医さんへのメッセージ】

地域に貢献できるよう精一杯がんばります。

内科

藤川 未季

ふじかわ みき



【専門分野】 和漢診療科
 【出身大学】 徳島大学
 【経験年数】 4年目 【出身地】 和歌山県
 【座右の銘】 木を見て森を見ず
 【趣味】 ハイキング、美味しいものを食べる、ドライブ
 【開業医さんへのメッセージ】

富山県の医療を支え、地域の人々を見守っておられる先生方のお力になれるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願致します。

内科

山本 里緒奈

やまもと りおな



【専門分野】 循環器内科
 【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 4年目
 【出身地】 大阪府
 【座右の銘】 人間万事塞翁が馬
 【趣味】 おいしいものを食べる
 【開業医さんへのメッセージ】

よろしくお願致します！



初期臨床研修医 高比良 弥紀

たかひら みき



【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 1年目
 【出身地】 石川県
 【座右の銘】 残り物には福がある
 【趣味】 スキー
 【開業医さんへのメッセージ】

4月から済生会富山病院で初期研修を行う高比良です。患者さんの立場に寄り添った診療を心掛け、地域の医療に貢献できるよう日々精神してまいります。

初期臨床研修医 三輪 昌之

みわ まさゆき



【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 1年目
 【出身地】 愛知県
 【座右の銘】 報恩謝徳
 【趣味】 野球・スポーツ観戦、コーヒー屋巡り
 【開業医さんへのメッセージ】

御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願致します。

初期臨床研修医 大野 芽衣

おおの めい



【出身大学】 富山大学
 【経験年数】 1年目
 【出身地】 高岡市
 【座右の銘】 一意専心
 【趣味】 日曜大工
 【開業医さんへのメッセージ】

一日も早く地域へ貢献できる医師になるべく、精一杯頑張ります。よろしくお願致します。

当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

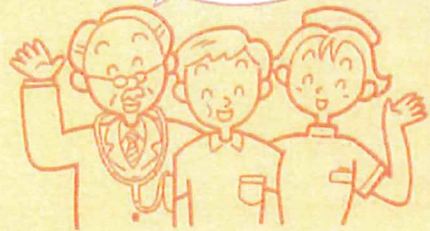
診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

令和6年4月以降
CT・MRI検査予約枠
変更となりました。
ご了承ください。



検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00~11:30 (火・金以外) 13:30~16:30 (月・水)	月 14:00~15:00 火 14:00~14:30 水 14:00~15:00 木 14:00~14:30 金 14:00~15:00
	RI	
8:30~11:30 (月~金) 13:30~16:30 (月~水)		
	MRI	
13:30~16:30 (月・水)		

富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務